

2024年2月8日

熊本県知事選候補 幸山 政史 様

いつも県政にご尽力いただき、ありがとうございます。

また、この度は、熊本県知事選挙へご出馬されましたことに敬意を表します。

私たち「菊池市の学校給食を考える会」は、子どもたちに、より安全な給食を食べてもらいたい、身体・環境・未来に優しい持続可能な地域作りにつなげていきたい、という想いのもと、『すべての子どもたちに農薬・添加物・遺伝子操作の心配のない食材を提供する』ことを目標に、2020年より活動を行っております。県下で活動している「くまものタネと食を守る会」とも協力、情報共有をしながら運動を進めております。

さて、昨今、毒性学における数々の学術研究は最新の科学的知見を集積しており、それらによると、たとえ安全基準値内であっても長期にわたる有害物質摂取が心身に悪影響を及ぼす「長期微量摂取による悪影響」、複数の有害物質を日常的に摂取することによる「複合毒性」、また有害物質摂取により世代を超えて遺伝子に悪影響を与える「エピゲノム毒性」などが、世界的常識となっています。

日本国内においては、輸入小麦の除草剤グリホサート汚染問題にはじまった食への危機感、農薬など有害化学物質の最新知見による毒性学的懸念が一般市民へ広がり、今、全国的な学校給食オーガニック化運動へと広がっています。とりわけ影響力の大きい成長期の“食育”として、学校給食が大変重要な役割を担っているからです。

そこで、県知事選候補者の皆様には、学校給食、またその他関連事項に関しての見解をお聞かせいただきたく、公開質問状という形でお願する次第です。

大変お忙しい中誠に恐縮ですが、3月1日までにメールでご回答、ご返信をいただけますよう、お願い申し上げます。

なお、ご回答の有無、内容につきましては、当会ホームページ、インスタグラムで公開するとともに、関係活動団体のメーリングリストなどで公表させていただきますことをご了承ください。

菊池市の学校給食を考える会 代表 中里 千恵

chiekyokushi@yahoo.co.jp

公開質問状

1. 全国に広がりつつあるオーガニック給食を、熊本県において推進していく考えはありますか。
2. 国は「みどりの食料システム戦略」を掲げていますが、熊本県においても積極的に有機農業を推進していく考えはありますか。
3. 熊本県においては、企業の進出が相次いでおり、いかに農地・水・環境を守るかが重要な課題です。これらは、食と切り離すことのできない根源的な課題であり、農地及び地下水量の減少に対する懸念、そして環境においては、昨年検出された地下水や河川のPFAS汚染など、毒性学の知見を鑑みても一刻も早い対応策を行うべきと考えますが、このことについてのお考えをお聞かせ下さい。